



1	3
2	4

■■■■■ 18 4 ■■■■■

平成18年の定例会がすべて終了いたしました。昨年1年をふり返ってみますと、財政難、少子高齢化社会に対応する為の諸施策がなされてきていました。特に鶴ヶ島市行政改革推進計画に基づき、スリムな行政に。そして、財政を圧迫している借地の問題、土地開発公社の有地の問題等々、まだまだ、厳しい中ではありますが、人口も7万人を超え、明るい将来に向けて、今、地盤を整備している時期ととらえ、更に住み良いまちづくりを、構築するため、市民のみなさまと共に一步一步前進してゆきたいと思えます。



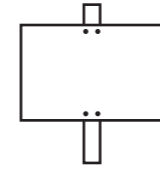
視察研修



18 11 6 8

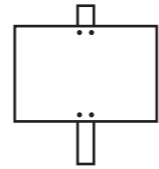
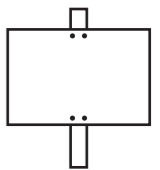


鹿児島市では、都市計画プランについて
 知覧町では、都市計画街路整備事業について
 垂水市では、定住促進対策及び空き家バンク制度
 について視察研修いたしました。



18 11 15

全国唯一の県直営の広域埋立最終処理場です。
 当センターは環境保全対策に十分配慮した施設で
 す。廃棄物問題（ゴミ問題）の解決には、私たち
 1人ひとりが毎日の暮らしの中で減らす努力を続
 けてゆくことが何よりも大切です。



18

圏央道城山八王子トンネル坑口部八王子西インタ
 ーチェンジをそれぞれ視察研修し、圏央道の進捗
 状況等を視察しました。

...

私の両親は富山県の人ですが、私は東京で生まれ育ちました。北区王子という下町です。夫はといえば新潟県の出雲崎町という漁港のある町で、良寛和尚が生まれたところで育ちました。縁あって一緒になって32年目を迎えました。そして、この鶴ヶ島の住民となって20年になります。引越してきた当時は、私達と同じくよその地から越してこられた方達ばかりで馴染むまでに多少の時間がかかりました。それでも3人の子供達は小学校に通いながら、沢山の友人と学び合いや、遊びを通して大きく成長し、巣立っていっています。この子供達にとっては、鶴ヶ島は故郷です。私たち大人が、それぞれに生まれ育った場所（故郷）があるように子供達の故郷です。心に残る思い出や様々な体験、経験は私達大人が環境をつくってあげなければなりません。子供達がこの地を離れていった時、懐かしい故郷、帰りたい故郷であってほしいと思います。その為にも、今、私達大人が住み良いまちづくりを更に進めてゆくことが大切だと思うこのごろです。



